

## 製品名: 因子 X ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86900

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1.9mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:55 kDa; Observed MW:60 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	Factor X
別名	FX; FXA
遺伝子 ID	2159
SwissProt ID	P00742
免疫原	ヒト因子 X の組み換えタンパク質

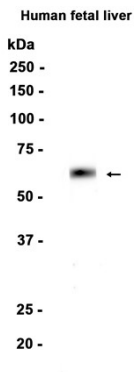
### 背景

この遺伝子は、血液凝固カスケードのビタミン K 依存性凝固因子 X をコードしています。この因子は、複数の処理段階を経て、その

プレプロタンパク質がトリペプチド RKR の切除によって成熟した 2 本鎖型に変換されます。この因子の 2 本の鎖は、1 つ以上のジスルフィド結合によって結合しています。軽鎖には 2 つの EGF 様ドメインが含まれ、重鎖には他の止血性セリンプロテアーゼのものと同様に構造的に相同性のある触媒ドメインが含まれています。成熟した因子は、活性化ペプチドが第 IXa 因子（内因性経路）または第 VIIa 因子（外因性経路）によって切断されることによって活性化されます。活性化された因子は、血液凝固中に第 Va 因子、Ca<sup>2+</sup>、およびリン脂質の存在下でプロトロンビンをトロンビンに変換します。この遺伝子の変異は、重症度が様々な出血性疾患である第 X 因子欠乏症を引き起こします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成され、同様のタンパク質分解処理を経て成熟ポリペプチドが生成される可能性があります。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]

## 研究分野

## 画像データ



1:1000 の濃度で第 X 因子ウサギモノクローナル抗体を使用して、ヒト胎児肝臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。